

# 日本語ボランティアブラッシュアップ講座 「テキスト+α」で、日本語でのコミュニケーションをひろげよう！

主催：(公財)横浜市国際交流協会

この講座では、日ごろの日本語学習でのテキストに加えて少しだけ「+α」の素材を使い、学習者が自分の生活に結びつけた話をしたり、日本語でのやり取りがもっとできるようになる、日本語支援の具体的な方法を一緒に学びました。

地域日本語教室ではいろいろな教材が使われています。学習者にとって、どんな教材がいいのだろう？と迷うボランティアの方も多くいらっしゃいます。日本語教室に参加する学習者の目的は様々ですが、日本で暮らしているのだから、日本語でのコミュニケーションが取れるようになりたいと教室に通う方が多くいらっしゃいます。そのような思いを持った学習者は、どんな時に「私、日本語が話せている！」と感じるのでしょうか。そして、日本語教室では、どんな工夫をしたら、日本語が話せていると感じる場を作ることができるのか。

今回はそのような教室活動への「+α」のヒントとして、文部科学省日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」(通称:つなひろ)を使って、コミュニケーションが広がる教室活動の工夫を学びました。

テーマ	「テキスト+α」で、日本語でのコミュニケーションを広げよう！
講師	有田玲子さん (東京にほんごネット代表) ※文部科学省 日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」作成チームメンバー
日時/場所	日時:2024年12月4日(水)12月11日(水)・12月11日(水) 14:00-16:00 場所:横浜国際協力センター6階
対象	横浜市内で日本語支援を行っている人
参加人数	25人(のべ46人) 1回目:24人 2回目:22人

## 参加者の声



- ・話したいのは学習者である事を強く意識しなければと思いました。今まで「教えなければ」と前のめりになってしまっていたように思います。
- ・たくさん話せる環境をつくることの大切さ。  
環境→学習者自身が沢山話したと、できた！と実感できる環境。「今日の目標は何か？」をはっきりさせることの大切さを理解しました。
- ・今まで できた！ は自分がいいレッスンができた・・・と自己満足の世界だったと思う。学習者にも できた！ と思ってもらえるようなレッスンを考えていきたい。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営:公益財団法人 横浜市国際交流協会(YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！



# 日本語ボランティアブラッシュアップ講座 「テキスト+α」で、日本語でのコミュニケーションをひろげよう！

主催：(公財)横浜市国際交流協会

## 第1回 12/4 (水)

### <テーマ>

“日本語が話せる”って、  
どんなこと？

### <この回のねらい>

横浜市に住んでいる外国人に、  
どのような学習支援が必要か  
を考え、自分の活動を見直す機  
会とします。



○グループワークで受講者の皆さんは、自己紹介の後、活動の  
情報共交換を行いました。

どんなテキストを使っている？活動をしていて、どんな時に楽  
しいと感じる？ 課題と感じていることは何？ など、様々な  
ことを共有しました。

### 【講師コメント・問題提起】

- ・学習者はどんな教材を使ったとしても、学習者はやっ  
ぱり自分のことを話したい。
- ・支援者の自分と学習者、どちらが多く話してる？
- ・どんな工夫をしたら、「わたし、日本語話せている！」  
と感じられる場が作れる？「日本語が上手になったと  
思う時って どんな時？

### 【受講者からの意見】

「日本語が上手になったと思う時は、生活の中で日本語を使って  
何かができた時や相手とやり取りができた時など。」

○Can-do(日本語を使ってどんなことができるか) について  
考えてみました。

実生活の中での行為の一例として、コンビニでできることを出  
し合い、様々な生活場面での日本語について考えました。そして、  
テキスト+αとして、「つなひろ」の動画を見て、第2回目の講座  
へつなげました。

## 第2回 12/11 (水)

### <テーマ>

コミュニケーションが広  
がる教室活動を試してみよ  
う！

### <この回のねらい>

「つなひろ」の場面を活用して、  
学習者自身の話をし、そこから  
話がどのように展開するかを  
考えて、想像できる話の展開  
を作ってみる。



○「つなひろ」の動画”病院へ行こう“を使ってコミュニケー  
ションの広げ方を学びました。

学習者への問いかけ：どんな話だった？どんな言葉が出てきた？  
自分の知っている言葉があった？

【講師コメント】 導入として、病院につながりそうな話題提  
供をし、学習者が自分のことを話せるようにする。季節、病  
院の種類、診療科などの話をする。その後、「つなひろ」の動  
画を見ると自分のこととして、よりテーマでの話が広がる。

○コミュニケーションって何？

【受講者からの意見】互いに理解する／相手のことを知る／互いに  
言いたいことができる／言葉のキャッチボール

【講師コメント】 コミュニケーションは、自分と相手が参加し、  
協力して行う相互活動。コミュニケーションできていると実  
感できる環境を作ることが大切である。



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみよう・つながりたい」  
をサポートします！

